



男女共同参画セミナー

11月28日(金) 13:30~15:00  
守屋多々志美術館



## 「守屋多々志が描いた女性と その時代」

女性史研究家 度会 さち子さん

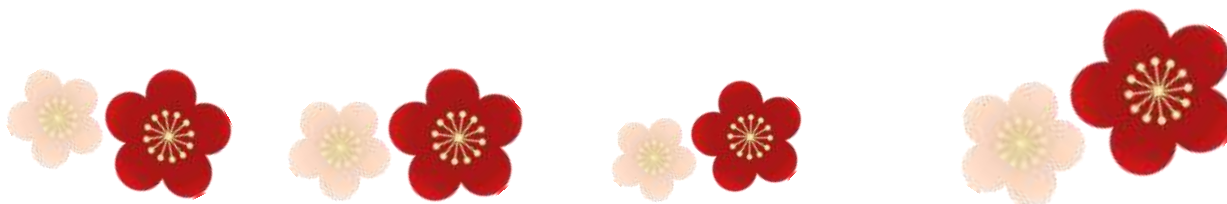


守屋多々志美術館特別展「美しい女性—守屋が描く歴史画の女性」にあわせて、まず、学芸員の方のお話を聞きながら、絵画を鑑賞しました。

次に、度会さんの講演により大垣にゆかりのある守屋多々志画伯の作品に出てくる女性の様々な生き方をとらえた作品が多々あることを知りました。

明治・大正時代の女性をモデルにした作品が多いのは、当時としてはめずらしい女子大生でもあった養母の影響によるものではないかという考え方があることが分かりました。

一つひとつの絵の中に、守屋画伯自身が映り込んでいるような感覚で見ることができました。



## 「物の整理は心の整理

### ～自分らしい生き方を考える～

整理収納アドバイザー ミラクルマジック代表 香田 佳江さん



日頃から多くのものに囲まれて生活をしている私たちは、誰もが一度はしなければと思うこととして「片づけ」があります。そこで、物の整理整頓についてのお話を聞きました。

まず、片付けをする前に「なぜ片付けなければいけないのか」を知ることが第一だという話から始まりました。整理をすると自分にとって本当に大切なものだけが残っていきます。

自分を知ることで自分らしい生き方のための空間づくりができ、心地よい空間を維持することが出来るようにつながっていくということが分かりました。

次に片付けのポイントを聞きました。

キーワードは「崩れない・忘れない・使いやすい」です。

そのためには

1. **物を増やさないこと**
  - ・何がどのくらい必要かを考え必要以上物を持たない
  - ・物を持てば持つほど物の管理は難しい
2. **出したものは元に戻す**
  - ・物の定位置を決める
  - ・どこに何をどうやって置くのが使いやすいかを考える
3. **グループを作る**
  - ・特に書類などの整理にはとても便利
  - ・部屋の中も空間をグループ化すると良い
4. **ルールを作る**
  - ・どのくらいの量を持つか（捨てられないものは「とりあえず箱」へ）



参加者の多くがやる気を出して今すぐに片付けしてみますと言って帰られました。

整理整頓で自分を磨き、明るく前向きな気持ちになることを知り有意義な講座だったとみなさんに満足していただきました。



## 「若い世代の子育て感」



「女性の活躍」が言われている中、仕事と子育ての両立が大きな問題となってきました。若い世代の仕事と子育て感について意見交換するために、大垣女子短期大学 幼児教育科の学生さん 10名と交流会を企画しました。彼女たちは、保育士を目指して学んでおり、短大内で開催している保育サロンにも関わっているため若いお母さんたちと接する機会も多く、また自身も将来ママ(母親)となる彼女たちがどのような考えを持っているか興味深く臨みました。

当日は、関係者の方の子育て経験を話し、子育てに関する制度の進展や若い世

代がライフプランを考えるうえで、今の仕事と子育てを両立するための支援に関する情報などを伝えました。

将来について「結婚は24~25歳でしたい」、また夫になる人に対しては「子どもが好きで家事を手伝ってくれる人が良い」という意見が多く、全員が保育関係の仕事に就きたいと考えていました。

国は「女性の活躍」のために保育園や学童保育の充実をはかりつつあるがどう思うかの回答には、子どもと母親が離れることを考えるのではなく企業内への託児所増加と子どもと母親の憩いの場の整備が大事という意見もありました。

交流会を終えて、学生さんたちは皆、将来をよく考えしっかりした思いをもっていると実感しました。仕事は続けたいが子育て期は子どもを優先にしつつ両立出来たらいい。将来は自分で保育所を持ちたい、中でも障害児保育に取り組みたいと考えている学生さんがいること保育士目指す男性が増えてきていることなどがわかり、とても有意義な交流会となりました。



## これまでの10年 これからの10年

～家庭・仕事・地域での男女共同参画社会づくりのために～

1月31日（土）10：00～15：00  
スイトピアセンター音楽堂



大垣市長、市議会議長、協議会会長挨拶に続き、午前の部では表彰式が行われました。今年度は、男女共同参画推進連絡協議会会長竹内八千子さんが、長年の功績を讃えられ表彰を受けられました。

各分科会の報告後、「これまでの10年 これからの10年」と題してシンポジウムが行われました。男女共同参画都市宣言から10年、各パネリストからこれまでの取り組み、現在の状況などの報告がありました。「男女が対等な立場で社会生活を営む」という考え方の定着の難しさや多様性を受け入れた地域作りの大切さを強く感じました。

午後の部は、合唱団OMCの歌声からスタート。東京大学大学院教授 瀬地山 角さんによる「笑って考える男女共同参画」と題した基調講演が行われました。ご自分の体験談から今後の社会の方向など、男性のワークライフバランスがいかに必要かという話や男性女性共に多様な考え方を受け入れ、一緒に取り組んでいくことが必要なのだと関西弁独特の話し方で語られ、たちまち時間が過ぎた楽しいお話でした。



### 平成27年度「大垣夢ある女性の会」総会について

27年度の総会は5月31日（日）奥の細道 むすびの地記念館にて行う予定です。

会員の皆様には、詳細が決まり次第、郵送にて改めてご案内させていただきます。

ぜひ、ご出席いただきますよう、お願い申し上げます。

